

# 経和会会報

発行 埼玉大学経済学部同窓会 経和会会長 田坂 敏幸 / 編集 広報委員長 古屋 久昭  
さいたま市桜区下大久保255番地 TEL 048-858-9218 (印刷：望月印刷株)

今回の東日本大震災で犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げ、多くの被災者並びにご家族・関係者の方々に心からお見舞い申し上げます。また、一日も早い被災地域の復旧と復興を心より願っております。



卒業生のト  
ークリレー  
ではNHK  
元アナウン  
サーの宮田  
修氏(教育  
学部卒)、株  
クレディセ  
ゾン代表取  
締役の林野

大澤辰英氏  
(文理学部)  
の乾杯の音  
頭でスター  
トしました。

卒業生160名以上と大学から上井学長はじめ首脳が参加しました。明るい雰囲気の中、杉尾会長が挨拶し、「私学に負けない人脈作りを」と熱く語ると共に上井学長の大学の近況などのお話のあと、理工学大学院の斎藤雅一教授が米科学誌サイエンスに掲載された研究をやさしく解説するなどアカデミックな雰囲気でも交流を盛り上げ、卒業生を代表して



この内容は、平成23年11月4日付けの読売新聞にも報道されました。

**同窓会連合会・5学部同窓会主催の  
第1回埼玉大学同窓会交流会が開催されました。**  
10月27日(水)埼玉大学東京ステーションカレッジのあるサピアタワーで開催されました。

経和会関係の出席者は次のとおりです。

- |              |                 |               |             |               |
|--------------|-----------------|---------------|-------------|---------------|
| S32 大林 澤 辰 英 | S44 永 井 孝 一     | S50 山 根 健 次   | S54 藤 原 晃   | H 4 古 屋 久 昭   |
| S33 渡 辺 正 喜  | S45 権 田 憲 晋     | S51 由 井 文 良   | S55 室 久 保 貞 | H 8 屋 田 二 弘   |
| S39 新 井 富 美  | S46 佐 田 中 賢     | S52 高 野 野 治   | S56 赤 館 逸   | H 9 室 田 敬 昭   |
| S42 桜 内 藤 勝  | S47 杵 宮 下 坂     | S53 古 藤 宮 山   | S57 手 荒 嶋 川 | H11 後 渡 美 雅   |
| S43 飯 島 辰 夫  | S48 田 坂 敏 幸     | S54 高 古 藤 宮 山 | S58 手 荒 嶋 川 | H12 渡 出 史 志   |
| S44 粕 倉 一 元  | S49 大 須 須 松     | S55 小 倉 渡 中   | S59 永 野 柳   | H14 出 鴻 池 正 昇 |
| S45 鎌 田 村 浩  | S50 吉 田 和 富     | S56 中 平 本     | S60 柳 千     | H17 福 星 勝 小   |
| S46 西 谷 野 勝  | S51 一 郎 二 恭 三 幸 | S57 中 平 本     | S61 藤 原 晃   | H19 星 勝 小     |
| S47 入 野 勝 見  | S52 吉 田 和 富     | S58 中 平 本     | S62 藤 原 晃   | H21 勝 小 関     |
|              | S53 一 郎 二 恭 三 幸 | S59 中 平 本     | S63 藤 原 晃   | 現 役           |
|              | S54 吉 田 和 富     | S60 中 平 本     | S64 藤 原 晃   |               |
|              | S55 吉 田 和 富     | S61 中 平 本     | S65 藤 原 晃   |               |
|              | S56 吉 田 和 富     | S62 中 平 本     | S66 藤 原 晃   |               |
|              | S57 吉 田 和 富     | S63 中 平 本     | S67 藤 原 晃   |               |
|              | S58 吉 田 和 富     | S64 中 平 本     | S68 藤 原 晃   |               |
|              | S59 吉 田 和 富     | S65 中 平 本     | S69 藤 原 晃   |               |
|              | S60 吉 田 和 富     | S66 中 平 本     | S70 藤 原 晃   |               |
|              | S61 吉 田 和 富     | S67 中 平 本     | S71 藤 原 晃   |               |
|              | S62 吉 田 和 富     | S68 中 平 本     | S72 藤 原 晃   |               |
|              | S63 吉 田 和 富     | S69 中 平 本     | S73 藤 原 晃   |               |
|              | S64 吉 田 和 富     | S70 中 平 本     | S74 藤 原 晃   |               |
|              | S65 吉 田 和 富     | S71 中 平 本     | S75 藤 原 晃   |               |
|              | S66 吉 田 和 富     | S72 中 平 本     | S76 藤 原 晃   |               |
|              | S67 吉 田 和 富     | S73 中 平 本     | S77 藤 原 晃   |               |
|              | S68 吉 田 和 富     | S74 中 平 本     | S78 藤 原 晃   |               |
|              | S69 吉 田 和 富     | S75 中 平 本     | S79 藤 原 晃   |               |
|              | S70 吉 田 和 富     | S76 中 平 本     | S80 藤 原 晃   |               |
|              | S71 吉 田 和 富     | S77 中 平 本     | S81 藤 原 晃   |               |
|              | S72 吉 田 和 富     | S78 中 平 本     | S82 藤 原 晃   |               |
|              | S73 吉 田 和 富     | S79 中 平 本     | S83 藤 原 晃   |               |
|              | S74 吉 田 和 富     | S80 中 平 本     | S84 藤 原 晃   |               |
|              | S75 吉 田 和 富     | S81 中 平 本     | S85 藤 原 晃   |               |
|              | S76 吉 田 和 富     | S82 中 平 本     | S86 藤 原 晃   |               |
|              | S77 吉 田 和 富     | S83 中 平 本     | S87 藤 原 晃   |               |
|              | S78 吉 田 和 富     | S84 中 平 本     | S88 藤 原 晃   |               |
|              | S79 吉 田 和 富     | S85 中 平 本     | S89 藤 原 晃   |               |
|              | S80 吉 田 和 富     | S86 中 平 本     | S90 藤 原 晃   |               |
|              | S81 吉 田 和 富     | S87 中 平 本     | S91 藤 原 晃   |               |
|              | S82 吉 田 和 富     | S88 中 平 本     | S92 藤 原 晃   |               |
|              | S83 吉 田 和 富     | S89 中 平 本     | S93 藤 原 晃   |               |
|              | S84 吉 田 和 富     | S90 中 平 本     | S94 藤 原 晃   |               |
|              | S85 吉 田 和 富     | S91 中 平 本     | S95 藤 原 晃   |               |
|              | S86 吉 田 和 富     | S92 中 平 本     | S96 藤 原 晃   |               |
|              | S87 吉 田 和 富     | S93 中 平 本     | S97 藤 原 晃   |               |
|              | S88 吉 田 和 富     | S94 中 平 本     | S98 藤 原 晃   |               |
|              | S89 吉 田 和 富     | S95 中 平 本     | S99 藤 原 晃   |               |
|              | S90 吉 田 和 富     | S96 中 平 本     | S100 藤 原 晃  |               |

総計60名

## 新たな同窓会活動と将来の課題について

経和会長 田坂 敏幸 (S四七年卒)



この度の東日本震災で被災された学生や卒業生の皆様、そのご

家族の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

さて、昨年10月に会員の皆様と前執行部の役員のお陰で会員名簿第4号を9年ぶりに刊行できました。紙面を持ちましてここに厚く御礼申し上げます。

21年度は新たな経和会活動として発展した年でもありました。現役学生や保護者の方々への同窓会活動に理解を深める普及活動を行ってきました。むつめ祭開催時に「3年次学生の保護者を対象とした就活保護者セミナー」を実施、また、「3年次向け就職セミナー」を1月、2月に7回シリーズを行い、就活を支援してきました。また、多くの方々を読みやすいよう経和会会報の紙面の刷新も図りました。

さらに、同窓会連合会内の1同窓会として同窓会交流会(昨年10月27日に東京駅サピアタワーで開

催)に参加しました。5学部で行委員会を立ち上げ、力を合わせて行い、総合国立大学ではほとんど例を見ない初の試みであり、新しい同窓会活動の幕開けでもありました。

一方、経和会が抱える将来の課題に財政問題があります。卒業生が1万名を超え、会報等の送料経費が大きな負担となつて財政を圧迫してきています。今のうちから手を打とうと新入生からの終身会費納入率のアップのための活動で納入を訴えております。また、あらゆる面での運営経費の削減にも力を注いでおります。

最後に、今後増加する会員数を考えると経和会会報の卒業生への会費納入の有無に関わらず、住所の判る方全員に発送している会報の送付を将来見直し、会費納入の方々に限定せざるを得ない時期が来るのが予想されています。是非、このようなことにならないためにも卒業生の皆さん、今後ともよろしくご支援ご協力をお願いいたします。

## 保護者セミナー

経済学部3年次の保護者を対象とした就職支援セミナーが経済学部で開催されました。(10月30日)

当日はむつめ祭の一日でしたが生憎の台風接近にもかかわらず参加者は熱心に聞いておりました。終了後、個別相談も行いました。参加者は遠方から来られた方もおり約40名でした。

講師は埼玉大学で就職相談を行っている就職カウンセラーの方々です。

現在、大学の就職支援チームには卒業生のカウンセラーは6名でそのうち、3名が今回、講師を務めました。卒業生カウンセラーの特徴は、40年近い会社生活から経験豊富で業界・企業の知識が強みです。

4年次の学生諸君には是非、相談に来ていただきたいと願っております。

経済学部出身者カウンセラーの出身企業は次のとおりです。

松崎健(富士通)、須藤富平(清水建設)、大木雄生男(国民生活金融公庫)、田坂敏幸(三井住友海上火災保険)の皆さん、業界研究・企業研究が得意でエントリーシートの添削などでも学生に高い評価を得ています。

経済学部卒業生の相談日は月・金です。



平成23年度

経和会総会の  
ご案内

一 日時 平成23年7月9日(土)

● 総会 14時(受付開始13時30分)

● 懇親会 15時~17時

二 住所 埼玉大学大久保キャンパス

住所 さいたま市桜区下大久保255

電話 048(858)9218

● 総会 経済学部A棟5階

● 懇親会 A504講義室

三 懇親会 大学会館3階 大会議室

● 懇親会 今回も昨年度の総会に引き続き、現役学生とOB・OGとして交流会を企画・実施して社会問題・就職環境について就業経験・人生経験からのアドバイス等の場としたいと考えています。是非とも、積極的なご参加をお願いします。

四 懇親会会費 5,000円

(現役学生・院生は無料です)

五 交通手段

● JR京浜東北線「北浦和駅」より、埼玉大学行きバス乗車15分程度

● JR埼京線「南与野駅」より、埼玉大学行きバス乗車10分程度

● JR埼京線「南与野駅」より、タクシ

1乗車では料金は1,000円程度

六 出欠 7月1日(金)までに、同封の「はがき」にてお申し込みください。

「経和会会員名簿第4号」が9年ぶりに昨年10月に刊行されました。

## 名簿案内



「経和会会員名簿第4号」が9年ぶりに昨年10月に刊行されました。

会員名簿は氏名、住所のほか勤務先、出身校や会員索引、勤務先一覧などがあり、大変充実しています。

また、学生の皆さんには就活にも大いに利用できます。是非、ご購入下さい。

申し込み:

経和会郵貯銀行口座へのお振込みにて申し込み完了です。

頒布金額: 3,000円

口座名:

埼玉大学経済学部経和会 00500-4-22605

なお、会員名簿購入代とご記載ください。

着金次第、送付いたします。送料は経和会負担です。



# 平成23年3月卒の就職状況

今年は就職難3年目となり氷河期の影響が出た年と言えそうです。しかし相変わらず公務員志望が53名と多く、公務員に強い経済学部の影響を強めています。今年もUターンが多く、栃木、茨城、福島、山形、秋田の県庁を始め、市役所にも内定が多く出ています。また、警視庁など警察関係が増えています。一方、埼玉県、さいたま市の地元公務員は減少しています。

金融機関や保険業界では就職難を反映してか都市銀行は、りそなグループ1名と少なく、代わって日本郵政や地方の信用金庫が増えてきており、学生の堅実な就活の表れかも知れません。また、今年は13名と証券業界に人気が集まり、中でも大和証券に6名が内定しています。

今年の特徴に大学院進学者が5名おります。嬉しい反面、就職難を象徴しているようです。最後に今年も数名の公認会計士が誕生しました。皆さんの活躍を期待しています。

## 平成23年3月卒 主な内定先リスト (平成23年3月現在)

### 公務員関係 53

※公務員のみが表示が12件あるため数字は表示せず

国土交通省、財務局・国税庁関係、東京都、東京都特別区、埼玉県警、さいたま市、国立大学(埼玉)、栃木県、茨城県、福島県、山形県、秋田県など

### 金融・保険・証券 46

大和証券 6  
日本政策金融公庫 3  
中央労働金庫 3  
足利銀行 3  
群馬銀行 2  
東邦銀行 2  
武蔵野銀行 1  
三井住友海上 2  
りそなグループ 1

日本生命 1  
三菱UFJリース 1  
三井住友ファイナンス & リース 1  
芙蓉総合リース 1  
など

### 一般企業

小田急電鉄 1  
ペルーナ 2  
コニカミノルタ 1

関電工 1  
キリンビバレッジ 1  
鹿児島テレビ 1  
など

### 大学院進学

京都大、名古屋大、早稲田大、国際基督教大、横浜市立大 各1

就活してよかったーこれが私の就職活動を通しての感想です。もちろん毎日のように東京に出て、エントリーシートと面接に追われる日々は辛く苦しいものです。しかし同時に積極的に取り組んだ分だけ自分が成長できるまたとない機会でもありません。自分の場合は、インターンやゼミナーで出会った友人やOB訪問でお世話になった先輩に大いに刺激を受け、自分の世間知らずさを思い知らされたものです。OB訪問は最初の内は尻込みしてしまいましたが、知識・経験・自信が付くので強くお勧めします。バイト、ゼミ、サークルなど探そうとすれば幾らでも社会人との接点はあるはずですよ。

去年の埼玉大学生を見てみると、経済学部だったら金融だけしか見えないというように、狭い視野になっている人が多かったように感じます。最初から選択肢を狭めるなんて勿体無い一是非、様々な業種を見て回って、刺激を受けて下さい。就活後の世の中の見方が変わりますよ。最後になりましたが、お世話になった先輩方への感謝と後輩の就職活動での健闘をお祈りしてこの文の結びと致します。



株式会社ペルーナ 内定  
埼玉大学経済学部 経営学科卒業  
菱沼 匡

## 就職活動体験記



三井住友海上火災保険 株式会社 内定  
埼玉大学経済学部 経営学科卒業  
藤田 李佳

私の就職活動は3年生の夏休み中盤9月から始まりました。「超就職氷河期時代」と言われる就職活動を乗り切ることができた背景には、学校での授業での経験が生きたように感じています。3年生から受講することができた研究授業やゼミ活動の中で様々な人と意見を交わす中で、常に自分なりの考え・意見を持ち、それを相手に伝えるように話すという訓練ができたことで、面接でも自分の意見を論理的に話すことができただけではないかと思っています。こうした経験は大教室で行われる講義だけでは決して得られない経験であり、就職活動に限らず今後仕事をしていく中でも必要とされる力だと感じています。また埼玉大学は首都圏に限らず地方からの出身者も多いので、より多様な考え方をを持った友人たちに囲まれて日々刺激を受け、充実した大学生活を送ることが出来ました。世間では「から下がり社員」や「3年で辞めてしまう若者」などが問題視されていますが、厳しい就職状況の中社会人になることの責任と自覚を持ち、社会の一員としてこれから頑張っていきたいと思っています。

## 第6回

## 優秀論文表彰

最優秀論文 菅原 祥明 「中国の地域間格差」

優秀論文 小布施文康 「宿泊税についての再考」

竹部 素 「永住外国人参政権について」

孫 善姫 「日本百貨店の特徴 返品制について」

矢島 理恵 「東アジア農業共同体 東アジア FTA に向けて」

## 埼玉大学経済学部の学生が埼玉県へ政策提言を行いました



挨拶する上井学長



コメントを述べる上田知事

埼玉大学経済学部の学生による埼玉県知事に政策提言を行う「知事と学生の意見交換会」が、平成23年1月25日(火)に行われました。

平成22年10月から埼玉大学と埼玉県が協働し、経済学部の学

生74名が平成22年度後期の授業の一環として、県職員による出前講座の受講、現地調査などを通じて政策研究を行い、「埼玉県の魅力の戦略的な発信」、「みどりの再生の取組」、「若者の就業対策」など7つのテーマに関して提言をまとめました。

上井学長、上田知事の挨拶、松本経済学部教授からの趣旨説明の後、テーマごとのグループがそれぞれの研究成果を知事に直接プレゼンテーションしました。

提言を聞いた知事からは「良くまとめられている。今後の政策に生かしていきたい。」と意見が述べられました。



プレゼンテーションする学生

## 埼玉大学新学生宿舎が完成しました

この度、改修しておりました学生宿舎が無事に完成し、平成23年1月新春から新たにスタートを切ることとなりました。

埼玉大学学生宿舎は、埼玉大学に在学する学生に対し、修学に適する良好な環境を提供し、自主的な生活を通じて、自律性を培うとともに、規律ある社会性を育む機会を与えることを目的として設置しています。

居室数は男子2棟144名、女子1棟128名、計272名で全室個室です。

入居対象者は、学部新入生(1年生)で、より多くの学生が入居できるように入居期間は2年間とし、毎年半数の136名を募集します。

居室内には、ベッド・机・椅子・シューズ入れボックス・ユニットバス・ユニットIHレンジ付ミニキッチン・エアコン・遮光カーテン・テレビ端子・



▲キッチン



机▶

インターネット端子・照明を備えており、布団等の生活用品があれば、すぐに生活できるようになっております。

共用施設は、入居者の交流の場として、会合室Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(和室)、調理室を設け、そのほかランドリールームがあります。(食事の提供はありません。)

安全面には、特段の配慮を行い、入館時のキー装置を設置するほか、防犯カメラの設置、警備員による巡視、女子棟回りにフェンスを設置しております。

なお、集団生活の「寮」から個室の「学生宿舎」となったため、「蒼玄寮」、「悠元寮」の名称は無くなってしまいました。寮の名前が無くなったことは、特にかつて寮生であった方々には非常に残念に思われるとは思いますが、これも集団から個への時代の流れでしょうか。

今度の学生宿舎はワンルームマンションのような快適な空間で、勉強やキャンパスライフを満喫するには良いところとなっております。



新学生宿舎

## 平成22年度学生の自主的活動支援プロジェクト

### 「Campus plus プロジェクト」が報告会を開催しました

埼玉大学では、学生自身が責任をもって自主性・創造性を発揮できる活動プロジェクトを支援する事業として、「Campus plus プロジェクト」を行っています

平成22年度のプロジェクトの成果報告会が2月15日(火)に行われ、次のプロジェクトについて、各プロジェクトの代表者が、活動目的・目標設定からその達成までの経過をプレゼンテーションしました。

Campus plus  
プロジェクト

うらわ祭り活性化プロジェクト  
夏の巡回人形劇公演  
埼玉大生も大いに埼玉大学を語ろう！  
有機農業から広がる輪  
キャンドルナイト『ぼ』

## 埼玉大学で埼玉りそな銀行社長による寄付講義を開催

平成23年5月10日、埼玉大学で埼玉りそな銀行による寄付講義「現代銀行経営論」が開かれました。上条社長が教壇に立ち、金融機関の基本的役割や現在の金融情勢などを説明し、学生ら約110人が耳を傾けました。

寄付講義は毎年開かれ、今年で4年目です。今回は、7月5

日まで毎週火曜日に、計9回の講義が開かれる予定です。経済学部の専門課程の講義としての位置付けですが、全学部の学生が受講できます。具体的には、震災被災地の金融機関の現金支払業務やビジネスマッチングの企業の経営支援などの経営戦略が講義で語られました。



# 第61回

# 埼玉大学むつめ祭 MUTSUME

むつめ祭は埼玉大学最大のイベントであり、学生はもちろんのこと、教員やOB・OG、地域の方々等、多くの人達の協力のもとで開催されています。

一昨年には、第60回という記念すべき回を迎え、昨年の第61回では、台風により2日目が中止になってしまったにも関わらず、多くの方の来場がありました。今年の第62回は、11月3日～5日の3日間開催させていただきます。ぜひ、ご来場ください。



▲多くの来場者が訪れ、オープニングイベントは大成功に終わった。



▲左から、杉山小百合さん、近藤明香さん、濱未来さん、榎園珠美さん、桐林江利さん

## Miss SAITAMA MISS CAMPUS CONTEST Saitama University

ミス埼玉大コンテスト2010は1日目のオープニングを皮切りに華々しく開催された。五人のミスコンファイナリストがはじけるような笑顔でステージに上がり、オープニングの会場となった特設野外ステージには多くの人が集まる。毎年むつめ祭のメインイベントとして多くの人々の注目を集めるミスコン。一昨年のミスコンは何かが違うと多くの埼玉大生が感じ、今回も多くの人が期待していたことだろう。今年度は1日目のオープニング、2日目のファイナルで構成されていた。

しかし、むつめ祭2日目の10月30日、台風が埼玉大学を直撃。大学側の判断によって、むつめ祭自体が中止になってしまった。ミス埼玉大が決定しないままむつめ祭は終り、イベントが宙に浮いていた。しかしある日、大学のいたるところにイベントの告知が貼られた。「このままじゃ終われない」「むつめ2日目取り戻す」。ミス埼玉大を決めるためのイベントだった。多くの埼玉大生が心待ちにしていたことだろう。イベント当日、会場は教育学部棟C1教室。SAITAMA Girls Collectionのリハーサルムービーとファイナルで上映するはずだったミスコンのコンテンツムービーの上映、ミス埼玉大の決定などが行われた。会場に集まった人々の投票と審査員による厳正な審査の結果、ミス埼玉大は榎園珠美さん、準ミス埼玉大は杉山小百合さん、MS賞は濱未来さん、パルコ賞は桐林江利さん、スポーツ賞は近藤明香さんとなった。イベント終了後、帰路に就く来場者たちからは称賛の声が上がり、その声からは興奮が読み取れた。ミスコンは成功に終わった。もちろん、開催することができなかったミスコンファイナルとまったく同じクオリティを再現することはできなかったかもしれないが、これだけ来場者を満足させることができるイベントは埼玉大学には他にない。



▲ミス埼玉大2010 榎園珠美さん

今年のミス埼玉大コンテスト2011は是非むつめ祭で開催したいと切に願う。

学生団体FP(エフ・ピー)代表  
ミス埼玉大コンテスト2011統括  
伊藤 弘明  
hiroaki40@gmail.com



★FP(エフ・ピー)は埼玉大学を活性化することを目的として活動しています。

ここで言う、活性化とは、能動的に動く人間を数多く作ることです。自らも主体的となって行動していく団体です。埼玉大学にかかわる全ての学生を繋げるツールとなり、それを永続的に行うことにより、大学内のハブとなっています。

また、フリーペーパーだけでなく、ミス埼玉大コンテスト・就活セミナー等のイベントを行い、埼玉大学を盛り上げていきます。



▲vol.7 特集テーマ「むつめ祭」

「SOURCE」とは、埼玉大学公認サークル学生団体FP(エフ・ピー)が発行する、学内唯一の学生が作るフリーペーパーです。2009年春の創刊から今回の発行で十一冊目となります。

フリーペーパー SOURCE

# 同期会だより

## むつめゴルフ会

出口 雅史 平成12年卒

毎年恒例の「むつめゴルフ会」、昨年は11月12日(金)に森林公園ゴルフ倶楽部で開催しました。一昨年に続き、昨年の大会も心地よい秋空の下、31人も卒業生が参加しました。

競技は、12ホールペリア方式で、PARプラス3打を打数制限に行われ、ベストグロスは83というハイレベルな



戦いが繰り広げられました。優勝は、昭和35年経済学部卒業の熊埜御堂範雄さんで、グロス88、ハンデ16・8、ネット71・2という素晴らしい成績。2位に太田博さん、3位には小林千秋さんが入りました。最多打数は129でした(ちなみに、この最多打数は私です...)。競技終了後は表彰式が行われ、和気あいあいとした雰囲気の中、ゴルフの成績を振り返りながら懇親を深めました。今年も、11月11日(金)に森林公園ゴルフ倶楽部で開催する予定です。詳細については、経和会のホームページに掲載いたしますが、同期会やゼミ、サークル仲間など、多くの友人をお誘い合わせのうえ、一人でも多くの方の参加をお待ちしております。

参加者：熊埜御堂範雄、太田博、小林千秋、関根増男、長友三夫、高橋令幸、清水安衛、杵鞭弘恭、手嶋毅、松村淑子、松村雄、田中賢二、寺内慎一、鈴木均、内藤勝久、小澤清之、鈴木一成、前島暁、大崎鼎、石田肇、諏訪村博行、木村喬、中川隆夫、井手博、橋本養平、井上雄二郎、高久哲治、中村直行、大倉忠廣、杉本伸六、出口雅史  
(順不同)

## 沖縄同窓会

埼玉大学沖縄同窓会事務局

松田 碩志 昭和58年度卒

昨年8月、沖縄「興南高校」が甲子園で優勝したその日の飲み会、いつものメンバーに加え浦和一女卒の女性1名のご臨席もあり、同窓会設立の話題で盛り上がりました。同年12月30日の設立総会は、案内通知を出した22名中16名の参加がありました。当日は、同窓会規約を定め会長を選出するとともに、今後の活動計画として、さらなる加入を呼びかけること、在校生との懇親を持つことを決定しました。同窓会結成で中心となったメンバーは、昭和47年5月15日以前の入学になります。当時は、琉球政府立の高校を卒業し、パスポート「日本渡航証明書」が必要な世代です。設立総会後の懇談の場では、沖縄復

	氏名	学部・学科	卒業年次
1	赤嶺 純	経済学部	昭和53年
2	安里 辰洋	理工学部 数学科	昭和50年
3	石川 文男	物理学部	
4	石原 興嗣	電気工学科	昭和47年
5	石原 昌章	経済学部	昭和51年
6	嘉数 秀一	教養学部	
7	國場 裕介	機械工学科	平成9年
8	下地 公彦	経済学部	平成4年
9	城間 隆	経済学部	昭和48年
10	瀬名波 任	教育学部	
11	高江洲正彦	経済学部	昭和52年
12	玉城 大也	経済学部	平成9年
13	知念 和雄	経済学部	昭和45年
14	當山 吉彦	理工学部 物理学科	昭和49年
15	長嶺 弘輝	物理学部	昭和52年
16	仲宗根朝賢	経済学部	昭和54年
17	仲西 弘	理工学部 数学科	昭和48年
18	花城 可保	経済学部	昭和44年
19	譜久山當則	経済学部	昭和48年
20	松田 桜子	教育学部	
21	松田 碩志	経済学部	昭和58年
22	宮城 光男	文理学部 英文学科	昭和40年
23	山根健次郎	経済学部	昭和46年

経済学部	12
理工学部	7
教育学部	2
教養学部	1
文理学部	1
計	23



興を担う人材として埼玉大学で学んだ青春時代の熱き思いを、今後生かしていくこと、さらに次世代につなげていきたいという雰囲気を感じました。



# 私の交流録



埼玉県総務部長  
倉上 伸夫  
昭和51年卒

在学中、松島春海教授のゼミでお世話になったこと、友人と酒を飲んだり議論したり、遊んだこと、また、栄光ゼミナールの前身である学習塾でアルバイトをしたり、家庭教師をしたことなどが思い出されます。いまは亡き松島先生には、県庁に勤めるようになってからもアドバイスや励ましの言葉をいただきました。結婚式にも出ていただくなど、大学卒業後のほうが関係が深かったような気がします。また、友人との出会いも、自分の人生にとって大切なものになっています。

私は、これまで、産業労働、教育、さいたま新都心建設、ITなどいろいろな分野の業務を担当してきましたが、最近、埼玉県と埼玉大学の関係が深まってきていると感じています。平成19年3月に、相互協力・連携協定（包括協定）を締結した成果がでてきているのかもしれませんが、私自身、産学官連携や教育行政などに携わってきたので、そう感じるのかもしれませんが。とりわけ、渋谷副学長、山口教育学部長には、ここ数年、大変お世話になっております。

取組みはまだまだスタートしたばかりです。今後、さまざまな分野で緊密な協力関係を築き、埼玉県の活性化に更に生かしていきたいと思えます。皆様のご協力を宜しくお願いします。



埼玉りそな銀行  
鈴木 義郎  
昭和58年卒

私が埼玉大学経済学部経済学科に入学したのは共通一次元年である昭和54年です。在学中は勉強よりもゴルフと麻雀に熱中していた私ですが運よく埼玉銀行（現埼玉りそな銀行）に拾ってもらい現在に至っています。卒業したのは三十年近く昔ですが銀行に就職してからも母校とは色々縁があり、若い時分には集金にお伺いしていましたし、最近では寄附講座の講師を勤めさせて頂いた関係で今でも大学は身近な存在です。

また、卒業後も毎年ゼミ（野田ゼミ・金融論）の忘年会があり年に一度は先生をお呼びし先輩後輩で酒を酌み交わしています。近年のOB会では先生のお元気な様子や後輩の石丸君がいつ所帯を持つかが皆の楽しみです。当行の中でも埼玉出身者が飲み事が結構あります。働くセクションはバラバラですが情報交換やガス抜きには気楽な仲間が一番ですね。埼玉大学の卒業生は私大に比べて少ないですが色々支え合っ

## ありがとうございます 経和会終身会費及び賛助・広告代納の皆様 平成22年5月～23年3月まで（敬称略）

〈新入会員〉平成20年入学 中屋俊彦、村上大樹、吉岡明良、助川明美、南雲譲史、鈴木雄也、茶山照康、高橋愛、水口昇平、鳥川高浩、丸山哲、青木真広、佐藤宏政、沼倉秀平、武田延高、山形祥一、茂村総一郎、児玉慎一、楠見知輝 平成21年入学 太田裕介、大貫達也、戸川拳斗、富沢涼太、齋藤拓未、栗橋惇、田中浩品、滝口優樹、高橋美鈴、村山裕太郎、石橋朋子、林谷和子 平成22年入学 遠藤孝行、熊谷連、齋藤謙介、大澤恒久、田中享、山田絵葉、美濃部英明、岩田愛美、松原澄音、飯塚啓太、加藤彦彦、土屋優太、吉田智、朱櫻子、古川洋平、宮川明久、室井亮二、鳥井 平成23年入学 白井伸和、王玉、金子晶宗、小牧さくら、佐々木雅人、安藤久、金丸将司、矢竹正博、安高益枝、外山玄海、松井真美、古泉可南子、中嶋未来、バトムンフメンドバヤル、大綱康平、古川孝、柴田仁夫、高橋光一、中澤克浩、齋藤千尋、石川良亮、猪野太一郎、坂上千明、小林床、佐竹亮哉、鈴木優、酒井優、三浦淑恵、齋藤弘行、小野航、足利優花、目崎裕亮、小野村寧々、関茅夏、森谷悠基、小野寺彩、竹城圭将、田中寛子、後藤有里、小田拳志郎、朝日光一、北山健士郎、

知久孝、飯島輝展、林理之、秋元麻里、鈴木嘉寿馬、齋藤愛、石坂優介、多筈大暉、西田りか、小林淳也、武安真太郎、南和也、土田一宇宙、高地有紀、山口純平、今富創士、徳田実咲、立花達朗、長谷川奈々、藤井春樹、木曾純太、肥田駿佑、園田朗人、齋藤憲章、青木和也、松本直希、鹿内直輝、類家哲生、瀬川友紀子、辻拓弥、岡田柁平、森田修平、福島知之、北村琢馬、石川貴大、野澤紫乃、神長祐太郎、佐藤智亜樹、櫻井岳史、佐竹宏文、高尾紋夏、辻彩子、石川雄貴、三上大輔、細入祥汰、山田ともこ、小野寺将晃、明石涼、木村信子、船山聡太、市川さおり、宮沢駿平、齋藤稜、木口聖、小笹和哉、日向元大、齋川貴子、渋谷篤義、佐藤俊朗、木村舞耶、林洗介、佐藤元輝、岩崎健二、遠藤瑠子、深谷真弘、北川恭大、若澤敏克、齋藤諒、佐藤翼、高橋一基、嘉崎亜紀、山田祥子、小木将貴、石井航太、山本将矢、中島美和、遠藤友子、沓岐村勇人、加瀬智美、櫻庭俊吾、角田孝正、石黒翔太、蓬田愛実、高木裕亮、新田裕河、五十嵐誠

〈卒業生〉昭和31年卒 中園常記、飯島秀男 昭和32年卒 栗原一郎、林正男 昭和33年卒

桜田良彦 昭和34年卒 久保信朗 昭和35年卒 岩城昌一 昭和37年卒 迫田義憲、橋元和子 昭和38年卒 小林信一 昭和39年卒 宮入興一、石原賢二、狩野博 昭和40年卒 野口節子 昭和42年卒 齋藤篤 昭和43年卒 小林宣光 昭和46年卒 辻野祐治、杵鞭弘恭、浜野真一、古野治 昭和47年卒 鈴木均、荻野勝美 昭和48年卒 篠田健之、飯田康英、福田稔、倉康生 昭和50年卒 宮脇豊、杉山章子 昭和52年卒 栗原徹 昭和54年卒 山康雄 昭和56年卒 茅野明宏 昭和57年卒 矢高伸司 昭和58年卒 福井淳 昭和59年卒 松田碩志 昭和62年卒 鈴木研次 平成1年卒 金子浩 平成3年卒 末岡智一 平成4年卒 羽島浩司 平成10年卒 菅敬太郎 平成11年卒 橋本育子 平成12年卒 出口雅史 平成13年卒 佐野友美、川上卓蔵 平成16年卒 久次文勝 平成19年卒 柳井谷忍 平成20年卒 中田佑治、岡野哲也、石田貴裕、高橋優太 平成23年卒 吉山小百合 教養学部 吉田達文

〈不明〉 齋藤裕

経和会ホームページをご利用ください  
URL <http://www.keiwakai.net> メール [webmanager@keiwakai.net](mailto:webmanager@keiwakai.net)

# ソフトボールに 費やした大学生活

(平成元年卒) 井上ゼミ(会計学)

有賀(坂東) 邦俊



昭和六十二年、私達ソフトボール部員はインカレ予選を迎えていた。相手は、リーグでは当時一番

強かった城西大学。

試合は途中まで7対1の劣勢で5回を迎えていた。ここから粘りを見せ、4点返し更に1、2塁にランナーを残し私に打順が回ってきた。4、5球ファールで粘り、フルカウントとなった。その間バスポールもあり相手も苦しい。そして、次の球は待っていた内角ストリート。「よしっ!」と心の中で叫び、振りに行つた私は、ライナー性のライト前ヒットをイメージした。



しかし、結果はセカンドゴロの凡退。その後、このチャンスで大限に生かせなかったことが響いて敗れてしまった。これが卒業して二十

二年経つ今でも鮮明に覚えている場面である。悔しい反面、今なら打てそうな気がするの不思議なものである。

当時一番の目標であったインカレ出場に届かなかったことが、部活生活最大の思い出となっている。

一昨年、十六年振りにさいたまに戻ってきた。ある時大学の脇を車で通った折練習試合をしているのを見かけた。試合をしばらく見ていたら懐かしさが込み上げると共に触発され、その帰りに、毎日のように練習に通ったバッテリーセンターに行つて見た。が、残念ながら無くなってしまった。珍しくノンプロ級のスピードを誇るソフト打席があった貴重な練習場であったのだが、あの頃を思い出して無心で打つてみたい、今でもそう思う。

そんな思い出の中で培われた交友関係は今でも続いており貴重な財産である。又、今私は一市民ランナーとしてマラソンを趣味にしており、打ち込めるものがある。仕事以外に打ち込めることがあると、仕事にもいいリズムが生まれる、ということを実感している。学生の皆様にも、何かに打ち込むことによって、交友関係を始めとして何か得るものを見つけて欲しいと切に願って、稚拙なこの文章を終わりたいと思う。



## 「埼玉大学東日本大震災緊急支援奨学金」へ募金のお願いについて

埼玉大学では今回の大震災について、被災された埼玉大学生を救おうと経済的な緊急支援として緊急支援奨学金を創設しました。経和会でもその趣旨に賛同し募金活動に協力いたします。つきましては同窓生の皆さまからの温かい募金を心よりお願い申し上げます。

なお、埼玉大学が学生の入学金・授業料免除などの支援を行う一方、この奨学金は学生生活を補助する目的で使われます。対象は100名程度で一人15万円ほどを給付するものです。

**振込先** 銀行名 三井住友銀行 大宮支店  
口座種別 普通 口座番号 7968041  
口座名 埼玉大学東日本大震災緊急支援奨学金口  
または埼玉大震災奨学金口

**寄附金控除**  
本奨学金に対する寄附は、所得税等の寄附金控除の対象となりますので、領収書をご希望の方は、下記まで問い合わせください。

### 本奨学金に関する問合せ先

埼玉大学 学務部学生支援課  
TEL: 048-858-3944 FAX: 048-858-3682  
E-Mail: saidaisupport@gr.saitama-u.ac.jp

## 訃報

埼玉大学名誉教授(元経済学部教授) 村川秀雄先生(享年82歳)におかれましては、平成22年12月1日(水)にご逝去されましたので、ここに謹んでお知らせいたします。合掌

## 恩師からの便り

名誉教授 小山 博也 政治学

経済学部卒業生が1万人を超えたとのこと、歴史の重みを感じています。最近、依頼されて会津出身の政治家・官僚の幾人かの評伝を書きました。今は政党関係の思想史関連の本を読んでいます。

また、頼まれて地元の老人会の会長をしています。ささやかな社会奉仕の積りです。

それにしても大震災の被害にあわれた方々にお見舞い申し上げますとともに、復興の速やかなることを心から祈っています。

## 編集 後記

今年で、現役学生が編集委員に加わってから5年目になり、また、新たに若手の卒業生が2名加わり、新旧交代いたしました。今回も、会報の2つの基本コンセプト、①経和会が経済学部の就職支援並びに経済学部支援を行うこと、②現役学生・卒業生等若い方から年輩の方にもご寄稿いただき、一部の卒業生だけでなく、若い方を含め多くの会員に関心を抱いてもらうこと、を念頭に置き、経和会発展に寄与する目的で発行致しました。

最後に、震災の中、例年通り発行することができたことに対し、望月印刷様に御礼申し上げます。